

平成31年1月16日

中央大学と八王子市図書館部による
共同研究の中間報告会を1月29日（火）に開催

平成29年4月に八王子市は、中央大学と「包括連携協定」を締結しました。

この協定に基づき、中央大学文学部社会情報学専攻の研究チーム（代表者：教授・小山 憲司（こやま けんじ））と八王子市図書館部は、平成29年7月から八王子市における図書館整備及び図書館関連教育の向上を図ることを目的とし、「読書感想文及び図書館利用実態に関する研究」と題した共同研究を実施しています。

このたび、関係者を対象に、学生を中心とした研究成果の平成30年度中間報告会を開催いたします。

1 開催日時

平成31年1月29日（火）午後2時から4時まで

2 開催場所

生涯学習センター（東町5-6） 11階 視聴覚室

3 報告内容・報告者

- ・「図書館のデジタルコミュニケーション」佐藤 千夏（さとう ちなつ）
（中央大学文学部人文社会学科社会情報学専攻4年）
- ・「中学生はどのように本を選んでいるのか ―八王子市読書感想文コンクール作品を参考に―」西澤 美優（にしざわ みゆ）
（中央大学文学部人文社会学科社会情報学専攻4年）
- ・「八王子市図書館を対象とした図書館評価のためのデータ分析」
青木 優大（あおき ゆうた）
（中央大学大学院文学研究科社会情報学専攻博士前期課程1年）

4 参考

本共同研究テーマは、次の二つです。

（1）読書感想文コンクールに寄せられる読書感想文の分析

毎年、八王子市内の小・中学生約4千人の応募がある読書感想文コンクールについて読書傾向分析を行い、「学校図書館、公共図書館の選書」「おすすめ図書のある方」「興味を持たせる図書の薦め方」など、効果的な読書活動の推進を図ります。

（2）図書館利用実態に関するデータの分析

利用者満足度調査、地域別利用者数、年代別利用者数、貸出し状況等の総合的な分析を行い、「図書館の配置、蔵書数、選書」「各館のレイアウト、情報提供」「充実すべきサービス」など、効果的な図書館運営について検証を行います。